

【H16年度】設計課題 「趣味(フラワーアレンジメント)室のある専用住宅(木造2階建)」

1. 設計条件

趣味(フラワーアレンジメント)室のある専用住宅を計画する。
計画に当たっては、趣味室は夫婦の共通の趣味であるフラワーアレンジメントに利用するほか、家族の友人等を招待してのパーティー等に利用することができるように計画すること。

(1) 敷地

- ア. 形状、道路との関係、方位等は、下図のとおりである。
- イ. 第1種住居地域内にあり、防火・準防火地域の指定はない。
- ウ. 建ぺい率の限度は60%、容積率の限度は200%である。
- エ. 地形は平坦で、道路及び隣地との高低差はなく、地盤は良好である。
- オ. 電気、都市ガス、上水道及び公共下水道は完備している。

(2) 構造及び階数

木造2階建とする。

(3) 延べ面積

必ず「150㎡以上、190㎡以下」とする。
(ピロティ、玄関ポーチ、屋外テラス、駐車スペース、駐輪スペース等は、床面積に算入しない。)

(4) 家族構成

夫婦(50歳代)、子供1人(男子大学生)

(5) 要求室

下表の全ての室は、必ず指定された設置階に計画する。

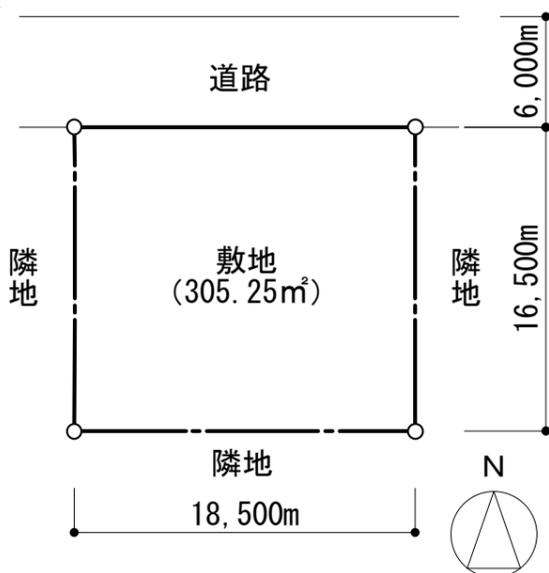
設置階	室名	特記事項
1階	玄関	
	居間・食事室・台所	ア、洋室23㎡以上とし、1室にまとめる。 イ、対面型のキッチンとする。
	趣味室	ア、洋室19㎡以上とし、その他に収納を設ける。 イ、流し台(1,500mm×600mm)を設ける。
	和室	ア、6畳以上とし、床の間及び押入れを設ける。 イ、趣味室と一体的に利用できるようにする。
	浴室	・3㎡以上とする。
	洗面脱衣所	・3㎡以上とする。
	便所	・広さは、心々1,200mm×1,500mm以上とする。
	納戸	・4㎡以上とする。
	(注)1階の廊下の幅は、心々1,200mm以上とする。	
2階	夫婦室	・洋室19㎡以上とし、その他に収納を設ける。
	子供室	・洋室9㎡以上とし、その他に収納を設ける。
	洗面所	・コーナーでもよい。
	便所	・広さは適宜とする。

(6) 屋外テラス、花壇、駐車スペース及び駐輪スペース

屋外に、下表のものを計画する。

名称	特記事項
屋外テラス	・10㎡以上とし、趣味室から直接行き来できるようにする。
花壇	ア、位置及び広さは、適宜とする。 イ、フラワーアレンジメントに使用する花を栽培する。
駐車スペース	・乗用車1台分とする。
駐輪スペース	・自転車3台分とする。

敷地図



2. 要求図書

- a. 下表により、答案用紙の定められた枠内に記入する。ただし、寸法線は、枠外にはみ出して記入してもよい。
- b. 図面は黒鉛筆仕上げとする(定規を用いなくてもよい)
- c. 記入寸法の単位は、mmとする。なお、答案用紙の1目盛は、4.55mm(矩計図にあつては10mm)である。
- d. シックハウス対策のための機械換気設備等は、記入しなくてもよいものとする。

要求図書 ()内は縮尺	特記事項
1階平面図兼配置図(1/100)	ア、敷地境界線と建築物との距離、建築物の主要な寸法を記入する イ、門、塀、植栽、屋外テラス、駐車スペース、駐輪スペース等を記入する。 ウ、室名を記入する。 エ、台所設備機器(流し台・調理台・コンロ台・冷蔵庫等)浴槽、洗面台、洋風便器、洗濯機を記入する。 オ、「通し柱」を○で囲み、「耐力壁」に△印を付ける。(注)「耐力壁」とは、筋かい等を設けた構造上有効な壁をいう(以下同じ)。 カ、矩計図の切断位置を記入する。
2階平面図(1/100)	ア、建築物の主要な寸法を記入する。 イ、室名を記入する。 ウ、洗面台、洋風便器を記入する。 エ、「通し柱」を○で囲み、「耐力壁」に△印を付ける。 オ、1階の屋根伏図も記入する。 カ、矩計図の切断位置を記入する。
2階床伏図兼1階小屋伏図(1/100)	ア、主要部材(通し柱、1階及び2階の管柱、胴差、2階床ばり、けた、小屋ばり、火打ばり、棟木、小屋束、もや)については、凡例の表示記号に従って記入し、断面寸法(小屋束を除く)を凡例欄に記入する。 ただし、主要部材のうち、平角材又は丸太材としたものについては、その断面寸法を図面上に記入する。なお、根太及びたるきについては記入しなくてもよい。 イ、その他必要に応じて用いた表示記号は、凡例欄に明記する。 ウ、建築物の主要な寸法を記入する。
矩計図(1/20)	ア、切断位置は、1階・2階それぞれの外壁の開口部を含む部分とする。 イ、作図の範囲は、柱心から1,000mm以上とする。 ウ、矩計図として支障のない程度であれば、水平方向及び垂直方向の作図上の省略は、行ってもよいものとする。 エ、主要部の寸法等(床高、天井高、階高、軒高、軒の出、ひさしの出、開口部の内法寸法、屋根の勾配)を記入する。 オ、主要部材(基礎、土台、大引、1階根太、胴差、2階床ばり、2階根太、けた、小屋ばり、もや、たるき)の名称・断面寸法を記入する。 カ、床下換気口の位置・名称を記入する。 キ、アンカーボルト、羽子板ボルトの名称・寸法を記入する。 ク、外気に接している部分の断熱・防湿措置を記入する。 ・屋根(小屋裏が外気に通じている場合は、屋根の直下の天井) ・外壁 ・1階床 ・その他必要と思われる部分 ケ、室内及び内外の主要な部位(屋根、外壁、床、内壁、天井)の仕上材料名を記入する。
面積表	ア、建築面積、床面積及び延べ面積を記入する。 イ、建築面積及び床面積については、計算式も記入する。 ウ、数値は、小数点以下第2位までとし、第3位以下は切り捨てる。

3. その他

次の試験については、下記の条件を追加する。

北海道の試験

(1) 設計条件

- ア、北海道の気象条件に合うような防寒構造とする。
- イ、玄関に風除室を設ける場合は、床面積に算入する。

(2) 要求図書の特記事項

矩計図に、①想定した凍結深度、②基礎の凍結防止措置を記入する。